

(様式第9)

平成 21年10月5日

厚生労働大臣 殿

東京医科歯科大学  
学長 大山 喬

東京医科歯科大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成20年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	115人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法  
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績  
→ 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非 常 勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	222人	317人	539人	看護業務補助	2人	診療エックス線技師	
歯 科 医 師				理学療法士	7人	臨床検査技師	73人
薬 剤 師	25人	13人	37.4人	作業療法士	3人	臨床衛生検査技師	
保 健 師				視野訓練士	6人	その他	
助 産 師	17人	3人	17.9人	義肢装具士		あん摩マッサージ指圧師	
看 護 師	625人	20人	639.9人	臨床工学技士	13人	医療社会事業従事者	5人
准 看 護 師				栄 養 士		その他の技術員	12人
歯 科 衛 生 士				歯 科 技 工 士		事 務 職 員	85人
管 理 栄 養 士	3人	3人	6人	診療放射線技師	34人	そ の 他 の 職 員	4人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	680.5人		680.5人
1日当たり平均外来患者数	2,166.7人		2,166.7人
1日当たり平均調剤数	(外来) 308.1剤	(入院) 515.6剤	

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	無	人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション(前十字靭帯損傷又は後十字靭帯損傷に係るものに限る。)	無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療(心臓弁又は血管を用いるものであって、組織の凍結保存及び外科治療を同一施設内で行うものに限る。)	無	人
胎児心超音波検査(産科スクリーニング胎児超音波検査において心疾患が強く疑われる症例に係るものに限る。)	無	人
インプラント義歯(顎骨の過度の吸収により、従来の可撤性義歯では咀嚼機能の回復が困難なものに限る。)	無	人
顎顔面補綴(腫瘍手術、外傷及び炎症その他の原因により顔面領域に生じた広範囲の実質欠損に係るものに限る。)	無	人
顎関節症の補綴学的治療(顎関節症(顎関節内障、下顎頭の著しい変形及び顎関節円板の断裂を除く。))に係るものに限る。)	無	人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法(神経の障害による運動麻痺又は骨・関節手術後の筋萎縮に係るものに限る。)	無	人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	無	人
光学印象採得による陶材歯冠修復法(歯冠部齲蝕の修復に係るものに限る。)	無	人
経皮的レーザー椎間板減圧術(内視鏡下によるものを含み、椎間板ヘルニアに係るものに限る。)	無	人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定(白血病、悪性リンパ腫又は多発性骨髄腫その他の造血器悪性腫瘍に係るものに限る。)	無	人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法(手術が予定されている者で、悪性高熱症が強く疑われる者に係るものに限る。)	無	人
CTガイド下気管支鏡検査(肺腫瘍に係るものに限る。)	無	人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断(アンチトロンビン欠乏症、第Ⅶ因子欠乏症、先天性アンチトロンビンⅢ欠乏症、先天性ヘパリンコファクターⅡ欠乏症又は先天性プラスミノゲン欠乏症に係るものに限る。)	無	人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	無	人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	無	人
三次元形状解析による顔面の形態的診断(頭蓋、顔面又は頸部の変形性疾患に係るものに限る。)	無	人
HDRA法又はCD—DST法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん(根治度Cの胃がんを除く。)、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	無	人
子宮頸部前がん病変のHPV—DNA診断(子宮頸部軽度異形成に係るものに限る。)	無	人
腹腔鏡下肝部分切除術(肝外側区域切除術を含み、肝腫瘍に係るものに限る。)	無	人
悪性腫瘍に対する陽子線治療(固形がんに係るものに限る。)	無	人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。)	無	人
成長障害のDNA診断(特発性低身長症に係るものに限る。)	無	人
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術(内視鏡的治療若しくは薬物治療抵抗性の食道静脈瘤又は胃静脈瘤、門脈圧亢進症性胃腸症、難治性腹水又は難治性肝性胸水に係るものに限る。)	無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術(主に乳房温存手術が可能なステージⅠ又はⅡの乳がんに係るものに限る。)	無	人
声帯内自家側頭筋膜移植術(一側性反回神経麻痺又は声帯溝症に係るものに限る。)	無	人
骨髄細胞移植による血管新生療法(閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の治療法に抵抗性のもので、フォンタン分類Ⅲ度又は同分類Ⅳ度のものに限る。))に係るものに限る。)	無	人
ミトコンドリア病のDNA診断(高乳酸血症その他のミトコンドリア機能低下が疑われる疾患に係るものに限る。)	無	人
鏡視下肩峰下腔徐圧術(透析アミロイド肩関節症又は腱板断裂、五十肩若しくは関節リウマチその他の原因による肩インピンジメント症候群に係るものに限る。)	無	人
神経変性疾患のDNA診断(ハンチントン舞踏病、脊髄小脳変性症、球脊髄性筋萎縮症、家族性筋萎縮性側索硬化症、家族性低カリウム血症性周期性四肢麻痺又はマックリード症候群その他の神経変性疾患に係るものに限る。)	無	人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術(再発翼状片、角膜上皮欠損(角膜移植によるものを含む。)、角膜穿孔、角膜化学腐食、角膜瘻痕、瞼球癒着(スティーブンス・ジョンソン症候群、眼類天疱瘡、熱・化学外傷瘻痕その他の重症の瘢痕性角結膜疾患を含む。)、結膜上皮内過形成又は結膜腫瘍その他の眼表面疾患に係るものに限る。)	無	人
重粒子線治療(固形がんに係るものに限る。)	無	人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術(原発性脊椎腫瘍又は転移性脊椎腫瘍に係るものに限る。)	無	人
31P-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断(糖尿病性足病変危険群と考えられる糖尿病患者に係るものに限る。)	無	人
神経芽腫のRNA診断	無	人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療(腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊椎管狭窄症又は腰椎手術の実施後の腰下肢痛(保存治療に抵抗性のも)に限る。))に係るものに限る。)	無	人
重症BCG副反応症例における遺伝子診断(BCG副反応症例又は非定形抗酸菌感染で重症、反復若しくは難治である場合に係るものに限る。)	無	人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体窒素処理骨移植	無	人
脾腫瘍に対する腹腔鏡補助下脾切除術(インスリーノーマ、脾動脈瘤、粘液性嚢胞腫瘍、脾管内腫瘍その他の脾良性腫瘍に係る脾体尾部切除又は核出術に限る。)	無	人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断(マントル細胞リンパ腫の補助診断として用いるものに限る。)	無	人
悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	無	人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断(急性期又は慢性期のQ熱に係るものに限る。)	無	人
エキシマレーザー冠動脈形成術(経皮的冠動脈形成術(エキシマレーザー冠動脈形成術を除く。))による治療が困難なもの、慢性完全閉塞のもの又はこれに準ずるものに限る。)	無	人
活性化Tリンパ球移入療法(原発性若しくは続発性の免疫不全症の難治性日和見感染症又は慢性活動性EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有	1人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	無	人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術(膀胱尿管逆流症(国際分類グレードVの高度逆流症を除く。))に係るものに限る。)	無	人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	無	人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術(泌尿生殖器腫瘍のリンパ節転移例又は画像上リンパ節転移が疑われるものに限る。)	無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植(HLA適合ドナーがいなくために造血幹細胞移植が受けられない小児のがん、難治性造血障害又は免疫不全症に係るものに限る。)	無	人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術(頸椎椎間板ヘルニア(画像診断上椎間板繊維輪の破綻していないヘルニアであって、神経根症が明らかであり保存治療に抵抗性のもの(後縦韌帯骨化症、脊椎管狭窄状態又は脊椎症状のあるものを除く。))に係るものに限る。)	無	人
ケラチン病の遺伝子診断(水疱型魚鱗癬様紅皮症又は単純型表皮水疱症その他の遺伝子異常に係るものに限る。)	無	人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有	0人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	無	人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術(双胎間輸血症候群に罹患した一絨毛膜性双胎妊娠の症例(妊娠十六週から二十六週に限る。))に係るものに限る。)	無	人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法(肺がん又は気管支前がん病変に係るものに限る。)	無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断(ウィルソン病、メンケス病又はオキシピタルホーン症候群に係るものに限る。)	無	人
超音波骨折治療法(四肢の骨折(治療のために手術中に行われるものを除く。))のうち、観血的手術を実施したもの(開放骨折又は粉砕骨折に係るものを除く。))に係るものに限る。)	有	0人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法(ヘリコバクター・ピロリ感染を伴う胃潰瘍又は十二指腸潰瘍に係るものに限る。)	無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存(骨又は靭帯の再建術であって、先天性疾患、外傷性(欠損性又は感染性偽関節に係るものに限る。)、骨腫瘍切除後、関節固定術時若しくは人工関節置換術時(初回又は再置換術時に限る。))の広範囲骨欠損、脊椎固定術時の骨融合促進又は靭帯断裂による関節不安定性に係るものに限る。)	無	人
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術(難治性根尖性歯周炎であって、通常の根管治療では効果が認められないもの)に係るものに限る。)	無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価(骨粗鬆症、骨変形若しくは骨腫瘍又は骨腫瘍掻爬術後若しくは骨髄炎掻爬術後の症状に係るものに限る。)	無	人
膀胱水圧拡張術(間質性膀胱炎に係るものに限る。)	有	0人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	無	人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	無	人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法(歯周炎による重度垂直性骨欠損に係るものに限る。)	無	人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術(人工股関節のたるみに係るものに限る。)	無	人
腹腔鏡下直腸固定術(直腸脱に係るものに限る。)	無	人
骨移動術による関節温存型再建(骨軟部腫瘍切除後の骨欠損に係るものに限る。)	無	人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション(原発性肝がん、肝内胆管がん、転移性肝がん又は生体肝移植ドナーに係るものに限る。)	無	人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍(食道がん、胃がん又は大腸がん)、進行再発乳がん又は原発性若しくは転移性肺がん)に係るものに限る。)	無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有	0人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	無	人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断(EBウイルス感染症に係るものに限る。)	無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術(尿管腫瘍、膀胱腫瘍、後腹膜腫瘍、後腹膜リンパ節腫瘍(精巣がんから転移したものに限る。))又は骨盤リンパ節腫瘍(泌尿器がんから転移したものに限る。)に係るものに限る。)	有	25人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術(白内障に係るものに限る。)	無	人
先天性難聴の遺伝子診断(遺伝性による先天性難聴が疑われるものに係るものに限る。)	無	人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断(フェニルケトン尿症、高フェニルアラニン血症又はピオプテリン反応性フェニルアラニン水酸化酵素欠損症に係るものに限る。)	無	人
培養細胞による先天性代謝異常診断(先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))に罹患する可能性の高い胎児もしくは新生児又は先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。)が疑われる小児に係るものであって、酵素補充療法による治療が出来ないものに限る。)	無	人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術(手術進行期分類Ib期までの子宮体がんに係るものに限る。)	無	人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	無	人
RET遺伝子診断(甲状腺髄様癌に係るものに限る。)	無	人
角膜ジストロフィの遺伝子解析(角膜ジストロフィと診断された症例に係るものに限る。)	無	人
強度変調放射線治療(限局性の固形悪性腫瘍(頭頸部腫瘍、前立腺腫瘍又は中枢神経腫瘍であって、原発性のものを除く。))に係るものに限る。)	無	人
マイクロ波子宮内膜アブレーション(機能性及び器質性過多月経(ただし、妊孕性の温存が必要な場合又は子宮内膜がん、異型内膜増殖症その他の悪性疾患又はその疑いがある場合を除く。))であって、子宮壁厚十ミリメートル以上の症例に係るものに限る。)	無	人
抗EGFR抗体医薬投与前におけるKRAS遺伝子変異検査(EGFR陽性の治癒切除不能な進行又は再発の結腸又は直腸がんに係るものに限る。)	無	人
光トポグラフィー検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助(ICD-10(統計法第二十八条及び附則第三条の規定に基づき、疾病、傷害及び死因に関する分類の名称及び分類表を定める件(平成二十一年総務省告示第百七十六号)の「(1) 疾病、傷害及び死因の統計分類基本分類表」に規定する分類をいう。))においてF2(統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害)に分類される疾病及びF3(気分(感情)障害)に分類される疾病のいずれかの疾病の患者であることが強く疑われるうつ症状の者(器質的疾患に起因するうつ症状の者を除く。))に係るものに限る。)	無	人
内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術(下肢慢性静脈不全症(下腿の広範囲の皮膚に色素沈着、硬化若しくは萎縮が起こり、又は潰瘍を有するとともに、超音波検査により穿通枝の血液が逆流していることが確認され、かつ、従来の外科的治療の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	無	人
歯科用CAD-CAMシステムを用いたハイブリッドレジンによる歯冠補綴(小臼歯の重度の齲蝕に対して全部被覆冠による歯冠補綴が必要な場合に限る。)	無	人
大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(早期大腸がん(EMR(内視鏡的粘膜切除術をいう。以下同じ。))では一括切除が困難な二センチメートル以上の病変であって、拡大内視鏡診断又は超音波内視鏡診断による十分な術前評価の結果、根治性が期待できるものに限る。))又は腺腫(EMRを実施した際の病変の挙上不良なもの又はEMRを実施した後に遺残又は再発したものであってEMRでは切除が困難な一センチメートル以上の病変のものに限る。))に係るものに限る。)	無	人
実物大臓器立体モデルによる手術支援(骨盤、四肢骨又は関節に著しい変形又は欠損を伴う疾患又は外傷に係るものに限る。)	無	人
無拘束型多点感圧シートセンサを用いた検査(閉塞性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる症状(習慣性がある激しいいびき、日中の傾眠等をいう。))及び所見(肥満、薬物療法に対して抵抗性を有する高血圧等をいう。))が認められる者又は中枢性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる慢性心不全の者に係るものに限る。)	無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術(頸部良性腫瘍に係るものに限る。)	無	人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	無	人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術(転移性脊椎骨腫瘍、骨粗鬆症による脊椎骨折又は難治性疼痛を伴う椎体圧迫骨折若しくは臼蓋骨折に係るものに限る。)	無	人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	無	人
カフェイン併用化学療法(骨肉腫、悪性線維性組織球腫、滑膜肉腫又は明細胞肉腫その他の骨軟部悪性腫瘍に係るものに限る。)	無	人
胎児尿路・羊水腔シャント術(プルーン・ベリー症候群その他の胎児閉塞性尿路疾患に係るものに限る。)	無	人
筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療(ジストニア、痙性麻痺その他の局所の筋過緊張を呈する病態に係るものに限る。)	無	人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(胸部悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	無	人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(腎悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	無	人
内視鏡下甲状腺がん手術(手術の実施後、予後の良い甲状腺乳頭がんに係るものに限る。)	無	人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法(転移性骨腫瘍で既存の治療法により制御不良なもの又は類骨腫(診断の確実なものに限る。))に係るものに限る。)	無	人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法(一次性下肢静脈瘤に係るものに限る。)	無	人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術(特発性又は既知の胎児先天性感染による胸水を主たる徴候とする非免疫性胎児水腫症(NIHF)例であって、胸腔穿刺後一週間以降に胸水の再貯留が認められるもの(妊娠二十週から三十四週未満に限る。))に係るものに限る。)	無	人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	無	人
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法(二次性副甲状腺機能亢進症に係るものに限る。)	無	人
腹腔鏡補助下肝切除術(部分切除及び外側区域切除を除く。)	無	人
根治的前立腺全摘除術における内視鏡下手術用ロボット支援(前立腺がんに係るものに限る。)	無	人
内視鏡下手術用ロボットを用いた冠動脈バイパス手術(虚血性心疾患に係るものであって、一箇所を吻合するものに限る。)	無	人

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

## 2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	181人	・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	226人
・多発性硬化症	95人	・ウェゲナー肉芽腫症	20人
・重症筋無力症	98人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	16人
・全身性エリテマトーデス	352人	・多系統萎縮症	42人
・スモン	2人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	3人
・再生不良性貧血	46人	・膿疱性乾癬	2人
・サルコイドーシス	183人	・広範脊柱管狭窄症	15人
・筋萎縮性側索硬化症	45人	・原発性胆汁性肝硬変	25人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	280人	・重症急性膵炎	10人
・特発性血小板減少性紫斑病	113人	・特発性大腿骨頭壊死症	98人
・結節性動脈周囲炎	30人	・混合性結合組織病	46人
・潰瘍性大腸炎	157人	・原発性免疫不全症候群	67人
・大動脈炎症候群	132人	・特発性間質性肺炎	74人
・ピュルガー病	58人	・網膜色素変性症	34人
・天疱瘡	51人	・プリオン病	2人
・脊髄小脳変性症	151人	・原発性肺高血圧症	4人
・クローン病	115人	・神経線維腫症	12人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	1人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・悪性関節リウマチ	34人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	0人
・パーキンソン病関連疾患	83人	・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	5人
・アミロイドーシス	7人	・ライゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	0人
・後縦靭帯骨化症	124人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・ハンチントン病	1人		

(注) 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

## 3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	①. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ②. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。		
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	週に5回程度、症例検討会を実施している。 (定例会は週3回。その他随時個別に臨床部門と8回以上開催。)		
剖検の状況	剖検症例数	79例	剖検率 19.1 %

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
水輸送を担うアクアポリン水チャネルの機能と制御機構	佐々木成	腎臓内科学	69,160	補 日本学術振興会
医療圏における地域疾病構造および患者受療行動に基づく地域医療の評価のあり方に関する研究	伏見清秀	医療情報部	2,000	補 厚生労働省
関節軟骨欠損に対する自己血清を用いた骨髄幹細胞移植法と滑膜幹細胞移植法の比較	宗田大	運動器外科学	2,210	補 日本学術振興会
眼内自然免疫機構と機能分子に関する免疫学的・分子生物学的研究	望月學	眼科学	3,640	補 日本学術振興会
肝移植保存液の新規開発	工藤篤	肝胆臓外科	3,380	補 日本学術振興会
難治性消化器癌における転移・再発の分子診断と分子標的治療の開発	有井滋樹	肝胆臓・総合外科学	15,470	補 日本学術振興会
重症くも膜下出血患者の予後改善を目的とした循環動態の調節方法	磯谷栄二	救命救急センター	3,120	補 日本学術振興会
大動脈粥状硬化病巣への歯周病の関与と血小板凝集の影響についての研究	井上芳徳	血管・応用外科学	1,950	補 日本学術振興会
緑茶カテキンによる食道癌、頭頸部癌化学予防の基礎的、臨床的検討	河野辰幸	血管・応用外科学	650	補 日本学術振興会
塞栓子検出ドブラ装置による肺塞栓症発症リスク評価法の確立	菅野範英	血管外科	1,820	補 日本学術振興会
膠原病の生命予後規定因子である肺合併症の診断及び治療法の再評価と新規開発に関する研究	宮坂信之	膠原病・リウマチ内科学	36,000	補 厚生労働省
治験の実施に関する研究[タクロリムス水和物]	宮坂信之	膠原病・リウマチ内科学	1,000	補 (社)日本医師会
「多発性筋炎・皮膚筋炎に合併する間質性肺炎に対するタクロリムスの臨床試験」の調整・管理に関する研究	宮坂信之	膠原病・リウマチ内科学	79,937	補 (社)日本医師会
TREM-1を標的とした関節炎の新規治療法の開発	宮坂信之	膠原病・リウマチ内科学	3,200	補 文部科学省
関節リウマチ新治療戦略としてのサイクリン依存性キナーゼ4/6阻害療法	上阪等	膠原病・リウマチ内科学	7,930	補 日本学術振興会
自然免疫および破骨細胞分化に及ぼすCDK4/6の新規機能の解析	村上洋介	膠原病・リウマチ内科学	2,210	補 文部科学省
耳石欠損マウスを用いたAtp2b2遺伝子と加齢性平衡障害の解明	野口佳裕	耳鼻咽喉科	1,430	補 日本学術振興会
難聴遺伝子GJB2と6変異による難聴発症機序の解析	伊藤卓	耳鼻咽喉科学	1,040	補 文部科学省
精子受精能と細胞内情報伝達系についての研究	清水康史	周産・女性診療科	910	補 日本学術振興会
メタボリック・シンドローム関連疾患における個別化医療の実現(心房細動関連遺伝子の臨床像との関連解析・機能解析)	磯部光章	循環制御内科学	1,500	委 科学技術振興機構
動脈硬化病変形成における細胞性免疫の関与とその制御による新規治療法の開発	磯部光章	循環制御内科学	2,470	補 日本学術振興会
炎症性腸疾患における腸炎惹起性免疫記憶T細胞の老化促進を応用した新規治療法の開発	戸塚輝治	消化器内科	1,690	補 日本学術振興会
炎症性腸疾患における白血球除去療法を用いた制御性T細胞を応用した細胞治療の開発	長堀正和	消化器内科	1,690	補 日本学術振興会
肝幹細胞を用いた幹細胞移植療法とC型肝炎ウイルス感染モデル動物の開発	陳正新	消化器内科	2,210	補 日本学術振興会
HATH1 標的遺伝子の網羅的検索における腸管上皮分化調節機構解析	土屋輝一郎	消化器内科	1,690	補 日本学術振興会
炎症性腸疾患における骨髄IL-7による病原性メモリーT細胞維持機構の解明	根本泰宏	消化器病態学	1,950	補 日本学術振興会
性ステロイドの肺高血圧に及ぼす影響—特発性肺動脈性高血圧の性差を鑑みて—	土井庄三郎	小児科	2,339	補 日本学術振興会
本邦に高頻度存在する脊髄小脳変性症に対する画期的免疫療法の開発	石川欽也	神経内科	1,170	補 日本学術振興会
アルツハイマー病の脳からのAB 排泄障害はAB 全身クリアランスの障害と関連する	富満弘之	神経内科	3,400	補 文部科学省
腎臓膜輸送体を制御する新規細胞内刺激伝達系の解明	内田信一	腎臓内科学	10,270	補 日本学術振興会
オートファジーによる細胞内感染防御システムと肉芽腫形成機構	江石義信	人体病理学	5,200	補 日本学術振興会
吸着式心筋センサープローブによる冠動脈バイパス術中心筋リアルタイム監視システム	荒井裕国	心肺機能外科学	650	補 日本学術振興会
靭帯骨化症の分子基盤—Runx3遺伝子欠損マウスを用いた検討—	阿江啓介	整形外科	1,560	補 日本学術振興会



末梢神経損傷に対する低分子Gタンパク質発現制御を標的とした遺伝子治療法の確立	若林良明	整形外科学	1,430	補	日本学術振興会
RNA干渉を用いた骨芽細胞、脂肪細胞分化調節因子の新規同定とその機能解析	新井嘉容	整形外科学	1,300	補	日本学術振興会
プロテオミクス解析手法を用いたアルドステロンの血管細胞への直接作用の解明	吉本貴宣	内分泌・代謝内科	1,560	補	日本学術振興会
変異遺伝子特異的な新規RNA干渉法の実用化を目指したin vivo投与での検討	久保寺隆行	脳神経病態学	2,080	補	文部科学省
血液脳関門への新規siRNAデリバリー法の開発	横田隆徳	脳神経病態学	3,200	補	文部科学省
胎生期における疾患原因の作用と小児造血器疾患	水谷修紀	発生発達病態学	10,010	補	日本学術振興会
浸潤性膀胱癌に対する化学放射線療法治療効果予測モデル作成	吉田宗一郎	泌尿器科	1,430	補	文部科学省
ヒートショックプロテイン90阻害剤による泌尿器癌の癌治療耐性克服	古賀文隆	泌尿器科	1,560	補	文部科学省
培養中皮細胞による人工腹膜作製およびその臨床応用	高沢亮治	泌尿器科学	780	補	文部科学省
イン・シリコ・ペプチド医薬の開発	平田結喜結	分子内分泌内科学	15,600	補	日本学術振興会
急性肺傷害におけるI型肺胞上皮傷害の機序および重症度に関する検討	内田篤治郎	麻酔・蘇生・ペインクリニック科	7,020	補	日本学術振興会
Indoleamine dioxygenaseを標的とした関節リウマチ新規治療法	針谷正祥	薬害監視学講座	1,600	補	文部科学省
関節リウマチにおける生物学的製剤の長期安全性と副作用リスク因子に関する疫学研究	針谷正祥	薬害監視学講座	6,500	補	日本学術振興会
フラクタルカイン阻害による血管炎症候群に対する新規治療法の開発	南木敏宏	薬害監視学講座	1,950	補	日本学術振興会
危険因子分析法(HAZOP)に基づいた医療安全演習ソフトウェアの開発	大川淳	臨床医学教育開発学	3,120	補	日本学術振興会
新規嚥下障害治療法の開発:大脳嚥下中枢と脳幹CPGを介したアプローチ	山脇正永	臨床教育研修センター	1,950	補	日本学術振興会
白血病幹細胞の病態におけるNotchの役割の解明とその阻害薬の感受性検査法の開発	東田修二	臨床検査医学	1,820	補	日本学術振興会
新規抗リウマチ薬投与に関連して発生する肺合併症に関する多施設症例集積研究	小池竜司	臨床試験管理センター	1,820	補	日本学術振興会
国立大学病院の診療、教育・研修および研究機能に関する評価指標の開発	伏見清秀	医療情報部	2,080	補	日本学術振興会
パラフィン包埋標本を用いたcDNAマイクロアレイの開発と臨床応用	植竹宏之	応用腫瘍学講座	2,860	補	日本学術振興会
肝癌早期発見を目的とした分子マーカーおよび画像診断システムの開発	有井滋樹	肝胆膵・総合外科学	112,112	補	厚生労働省
ヒト角膜内皮細胞に関する免疫学的・分子生物学的機能解析	杉田直	眼科学	1,300	補	日本学術振興会
転写技術を用いた細胞シートの眼再生医療への応用	大野京子	眼科学	1,200	補	文部科学省
補体活性化を中心とした加齢黄斑変性の発症機序解明と新たな治療アプローチ	大野京子	眼科学	5,590	補	日本学術振興会
健康危機管理における効果的な医療体制のあり方に関する研究	大友康裕	救急災害医学	6,300	補	国立保健医療科学院
核内酵素ポリ(ADP-リボース)シンセターゼ阻害による敗血症性ショックの治療戦略	三高千恵子	救命救急医学	910	補	日本学術振興会
炎症後色素沈着の機序の解明と低痕痕創傷治療に関する基礎的研究	岡崎睦	形成外科学分野	10,270	補	日本学術振興会
WNKキナーゼの解析による高血圧発症機序の解明と治療戦略	頼建光	血液浄化療法部	910	補	日本学術振興会
生活習慣病等の重症化予防のための栄養管理の標準化に関する研究	下門顕太郎	血流制御内科学	21,000	補	厚生労働省
聴覚系のグルタミン酸興奮毒性についてのパッチクランプ法による検討	鷹合秀輝	耳鼻咽喉科	650	補	文部科学省
ヒトと実験動物モデルの難聴におけるCDH23遺伝子の関与	喜多村健	耳鼻咽喉科学	2,080	補	日本学術振興会
C型肝炎ウイルスを制御するインターフェロン誘導遺伝子の分子機構と機能修飾の解析	井津井康浩	消化器病態学	2,210	補	文部科学省
生命時空間ネットワーク進化型教育研究拠点	渡辺守	消化器病態学	12,350	委	東京工業大学
難治性炎症性腸管障害に関する調査研究	渡辺守	消化器病態学	61,100	補	厚生労働省
腸管炎症における上皮分化障害分子機構と粘膜再生誘導解析	渡辺守	消化器病態学	18,720	補	日本学術振興会
不全心機能改善を目的としたAAV9-D1NLS/CDK4による心筋細胞増殖誘導	宮城直人	心臓・肺外科	2,210	補	文部科学省

肺がんにおけるカルボキシペプチダーゼMの発現と予後の研究	藤原直之	心肺機能外科学	2,600	補 文部科学省
疾患起因性変異蛋白の解析による腎臓の水・電解質トランスポートソームの解明	内田信一	腎臓内科学	15,100	補 文部科学省
Runx1による軟骨初期分化調節の分子機構の解明と軟骨再生医療への応用	神野哲也	整形外科	1,300	補 日本学術振興会
メタボリックシンドロームに伴う関節軟骨変性の分子機構解析	加藤剛	整形外科	1,430	補 日本学術振興会
3次元磁界測定により神経細胞内・細胞外電流を評価し、神経障害の病態を解明する	友利正樹	整形外科	1,000	補 文部科学省
SQUID磁束計を用いた脊髄機能診断法の臨床応用	川端茂徳	整形外科	1,430	補 日本学術振興会
大型骨組織再生を目指した骨髄間葉系細胞を用いた治療法の総合的研究	早乙女進一	整形外科	2,080	補 文部科学省
磁気共鳴スペクトロスコピーによる低酸素性虚血性脳症の病態解析	宮坂尚幸	生殖機能協働学	650	補 日本学術振興会
統合失調症の分子病態の解明	西川徹	精神行動医科学	4,000	補 文部科学省
グルタミン酸伝達調節による難治性統合失調症状の新規治療法開発に関する研究	西川徹	精神行動医科学	7,670	補 日本学術振興会
大腸癌における肝転移を規定するmicroRNAの同定と機能解析	本山一夫	大腸・肛門外科	1,040	補 日本学術振興会
頭蓋底病変に対する至適な外科的アプローチ法と再建法の選択のための解剖学的研究	岸本誠司	頭頸部外科学	1,690	補 日本学術振興会
PET膜輸送担体機能定量法に基づいた悪性脳腫瘍のターゲット療法の開発	成相直	脳神経外科	1,235	補 日本学術振興会
治験の実施に関する研究[酢酸リュープロレリン]	水澤英洋	脳神経病態学	4,300	補 (社)日本医師会
プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究	水澤英洋	脳神経病態学	121,249	補 厚生労働省
内因性ベクターを用いた中枢神経系への新規siRNAデリバリー方法の開発	横田隆徳	脳神経病態学	3,800	補 文部科学省
神経・筋疾患のRNAiを用いた画期的治療法の開発	水澤英洋	脳神経病態学	36,400	補 厚生労働省
内因性神経前駆細胞の制御による脳血管障害の神経再生治療法の研究	水澤英洋	脳神経病態学	1,300	補 文部科学省
再生医療・細胞医療製剤に汎用可能な新規微量高感度品質管理・安全性検証システムの開発と製剤の規格化に関する研究	森尾友宏	発生発達病態学	39,000	補 厚生労働省
DNA損傷シグナルに対する生体反応及び損傷修復機構の解析	森尾友宏	発生発達病態学	200	委 日本学術振興会
先天性免疫不全症における自己免疫疾患・悪性腫瘍の発生・成立機序の解析	森尾友宏	発生発達病態学	2,470	補 日本学術振興会
治療抵抗性GVHDの機序解明と治療法の探索	長澤正之	発生発達病態学	1,950	補 日本学術振興会
アトピー性皮膚炎のPTDを用いたB7分子標的療法	横関博雄	皮膚科学	1,200	委 日本学術振興会
siRNAを用いSTAT6を標的とした皮膚アレルギー疾患の遺伝子療法	横関博雄	皮膚科学	1,690	補 日本学術振興会
好塩基球を標的としたアトピー性皮膚炎の新治療の試み	高山かおる	皮膚科学	1,170	補 文部科学省
新規クラス抗HCV薬開発に向けた抗ウイルス化合物・宿主蛋白の包括的探索	坂本直哉	分子肝炎制御学講座	8,840	補 日本学術振興会
分子シャペロン、小胞体(ER)ストレスとHCV複製増殖動態の解析	中川美奈	分子肝炎制御学講座	2,210	補 文部科学省

計 96件

- 注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入する。  
2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者に複数いる場合は、主たる研究者の氏名を記入すること。  
3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は、「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけたうえで、補助元又は委託元を記入すること。

## 2 論文発表者等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Proc Natl Acad Sci USA. 2008 Feb 26;105(8):3047-52	Antisera induced by infusions of autologous Ad-CD134-leukemia B cells identify ROR1 as an oncofetal antigen and receptor for Wnt5a	Fukuda T	血液内科
Bone Marrow Transplant. 2008 Mar;41(6):515-21	Functional analysis of cytomegalovirus-specific T lymphocytes compared to tetramer assay in patients undergoing hematopoietic stem cell transplantation	Morita-Hoshi Y	血液内科
J. Immunol. 180:1954-1961, 2008	Successful treatment of animal models of rheumatoid arthritis with small-molecule cyclin-dependent kinase inhibitors	Kohsaka H	膠原病・リウマチ内科
Endocr J 2008;55:839-846	Diagnostic accuracy of adrenal venous sampling in comparison with other parameters in primary aldosteronism	Minami I	内分泌・代謝内科
Endocr J 2008;55:905-911	Defective expression of prohormone convertase 4 and enhanced expression of insulin-like growth factor II by pleural solitary fibrous tumor causing hypoglycemia	Iani Y	内分泌・代謝内科
Endocr J 2008;55:121-126	Late-night salivary cortisol as a screening test for the diagnosis of Cushing's syndrome in Japan	Doi M	内分泌・代謝内科
Endocr J 2008;55:853-859	Improvement of endothelial dysfunction in acromegaly after transsphenoidal surgery	Sakai H	内分泌・代謝内科
平成19年度総括分担研究報告書 68-71, 2008	ヒトACTH産生下垂体腫瘍における各種遺伝子発現異常の解析：厚生省科学研究費補助金（難治性疾患克服事業）脳下垂体機能障害に関する調査研究（千原和夫班長）	平田結喜緒	内分泌・代謝内科
ACTH RELATED PEPTIDES 19:-, 2008	局在診断に難渋した気管支カルチノイドによる異所性ACTH症候群の1例	谷 祐至	内分泌・代謝内科
ACTH RELATED PEPTIDES 19:-, 2008	ヒト下垂体ACTH産生腫瘍における各種遺伝子発現の異常	館野 透	内分泌・代謝内科
Kidney Int. 74:1403-9, 2008	Dietary salt regulates the phosphorylation of OSR1/SPAK kinases and the sodium chloride cotransporter through aldosterone	Chiga M	腎臓内科
Kidney Int. 73:1240-50, 2008	Expression and function of the Delta-1/Notch-2/Hes-1 pathway during experimental acute kidney injury	Kobayashi T	腎臓内科
Kidney Int. 73:430-445, 2008	The phosphoinositide-3 kinase gamma-Akt pathway mediates renal tubular injury in cisplatin nephrotoxicity	Kuwana H	腎臓内科
J. Cell Biol. 182:587-601, 2008	Reciprocal interaction with G-actin and tropomyosin is essential for aquaporin-2 trafficking	Noda Y	腎臓内科
J. Am. Soc. Nephrol. 19:298-309, 2008w	Aldosterone-stimulated SGK1 activity mediates profibrotic signaling in the mesangium	Terada Y	腎臓内科
Circ J 72:582-587, 2008	Effect of Left Atrial Ablation on the Quality of Life in Patients with Atrial Fibrillation	Miyzaki S	循環器内科
comparison with stress myocardial perfusion imaging. J Nuc Med, in press	Quantitative measures of coronary stenosis severity by 64-slice computed tomography angiography and relation to physiologic significance of perfusion in non-obese patients	Sato A	循環器内科
Eur Heart J, 29:490-498, 2008	Early validation study of 64-slice multidetector computed tomography for the assessment of myocardial viability and the prediction of left ventricular remodeling after acute myocardial infarction	Sato A	循環器内科
J Am Coll Cardiol, 51:1977-1985, 2008	Clarithromycin Attenuates Acute and Chronic Rejection via WWP Suppression in Murine Cardiac Transplantation	Ogawa M	循環器内科
J Cardiovasc Electrophysiol 19: 62-68, 2008	Influence of meals on variations of ST segment elevation in patients with Brugada syndrome	Nishizaki M	循環器内科
Int Heart J 49: 105-118, 2008	Blockade of the 4-1BB pathway attenuates graft arterial disease in cardiac allografts	Saiki H	循環器内科
J Gene Med 10: 805-809, 2008	Long-term follow up of initial clinical cases with NF-kB decoy oligodeoxynucleotide transfection at the site of coronary stenting	Egashira K	循環器内科
Expert Opin Ther Targets 12: 1-12,783-794, 2008	The effects of pharmacological PAI-1 inhibition on thrombus formation and neointima formation after arterial injury	Suzuki J	循環器内科
Cardiovasc Res 80: 181-190, 2008	Cardiomyocyte proliferation and protection against post-myocardial infarction heart failure by cyclin D1 and Skp2 ubiquitin ligase	Tanamori-Adachi M	循環器内科
Expert Opin Ther Targets. 12: 1313-20, 2008	A specific inhibitor of plasminogen activator inhibitor-1 suppresses rat autoimmune myocarditis	Suzuki J	循環器内科
Cardiovasc Res. published on line, Sept 2008	Pharmacological activation of the prostaglandin E <sub>2</sub> receptor EP4 improves cardiac function after myocardial ischemia/reperfusion injury	Hishikari K	循環器内科
J Cardiovasc Pharmacol Ther 13: 58-63, 2008	Coronary endothelial dysfunction and impaired microcirculation response to atrial natriuretic peptide in hyperinsulinemia	Ashikaga T	循環器内科
Journal of Cardiac Failure 15 : 300-304, 2009	Clinical characteristics of acute decompensated heart failure with rapid onset of symptoms	Konishi M	循環器内科
J Gene Med. published on line, Nov 10, 2008	An initial case of suppressed restenosis with NF-kB decoy transfection after PCI	Suzuki J	循環器内科
Expert Opin Ther Targets. 12: 1469-1476, 2008	A novel IKK inhibitor suppresses heart failure and chronic remodeling after myocardial ischemia via MMP alteration	Wakatsuki S	循環器内科
J Am Coll Cardiol. 2008;51:1003-10	Characterization of electrograms associated with termination of chronic atrial fibrillation by catheter ablation	Takahashi Y	循環器内科
Heart Rhythm. 2008;5:1458-1460	Ventricular fibrillation initiated by premature beats from the ventricular myocardium not associated with the Purkinje system after myocardial infarction	Takahashi Y	循環器内科
a pilot study. Endoscopy. 40:936-938, 2008	Single-operator method for double-balloon endoscopy	Araki A	消化器内科
Eur J Immunol. 38:3290-3303, 2008	FlV720 suppresses the development of colitis in lymphoid-null mice by modulating the trafficking of colitogenic CD4+ T cells in bone marrow	Fujii T	消化器内科
Methods of Information in Medicine. 47:157-166, 2008	Development of a tele diagnosis endoscopy system over secure internet	Sakamoto N	消化器内科